



駐車場と住宅地の間に木を植える場合、大木にならないものを。

※現みやぎNPOプラザ駐車場のメタセコイアのようにすると危険

県木・県花をはじめ、季節変化を感じられる在来の草木を植栽し、散策や自然観察、整備活動などをおして、県民が気軽に地域の自然とふれあえる場所に。

- けやき(県木)
  - モミジ、カエデ
  - サクラ類
  - シラカシ
  - ミヤギノハギ(県花)
  - 低木
  - 東屋
  - ▮ ベンチ
- ※あくまでも一案

JR宮城野原駅から正面入口まで、車椅子同士がすれ違える屋根付の歩道を整備。

イベント開催時や有事の際、南側からも各種車両が出入り可能な舗装路を確保。

外周200m程の広場を中央に設け、多様な主体が気軽に活用できる屋外アクティビティの場を創出。公園や一時避難場所としても利用可能。